

令和8年度第2回いわて県民情報交流センター 指定管理者選定・評価委員会〔議事録〕

1 日 時

令和8年9月28日（月）13：30～15：30

2 場 所

いわて県民情報交流センター7階 会議室702

3 進 行

開会、挨拶（佐々木若者女性協働推進室長）に続き、三浦委員長の進行により審議を行った。

4 議 事：令和7年度指定管理業務の評価について

- (1) 評価等の進め方について【資料1】
- (2) 事前評価結果について【参考資料1】
- (3) ヒアリング【参考資料2、参考資料3】
- (4) 委員による評価
- (5) 委員会による評価、意見交換
- (6) 令和7年度指定管理業務の評価結果報告書（案）について【資料2】

5 出席者

区 分	所 属	職 名	氏 名	備 考
委 員 (五十音順)	有限会社割烹旅館おぼない	若女将	大 建 も も こ	WEB
	一般社団法人 岩手県建築士会 盛岡支部	副支部長	勝 部 敬 次	
	一般財団法人 北海道東北地域経済総合研究所	理事・主席研究員	千 葉 幸 治	
	認定 NPO 法人 accommon	理事長	成 田 礎 野 美	
	公立大学法人 岩手県立大学高等教育推進センター	講師	西 村 君 平	副委員長 欠席
	岩手弁護士会	弁護士	藤 原 典 子	欠席
	特定非営利活動法人 陸前高田まちづくり協働センター	理事長	三 浦 ま り 江	委員長
	指定管理者 統括グループ	統括責任者	佐 藤 渉	
	統括グループ	維持管理業務 総括責任者	佐 藤 正 崇	
	運営グループ	運営業務総括責任者	藤 澤 正 一	
事務局	運営グループ	運営業務責任者	澁 谷 雄 介	
	維持管理グループ	維持管理業務責任者	山 村 悠 太	
	維持管理グループ	維持管理業務副責任者	金 丸 秀 樹	
	清掃グループ	清掃業務責任者	板 垣 雅 之	
	警備グループ	警備業務責任者	山 下 俊	
	岩手県環境生活部若者女性協働推進室	室長	佐々木 浩 一	
		連携協働担当課長	青 名 畑 聡	
		主任主査	晴 山 幸 恵	
		主任	内 田 光 俊	
		主任	赤 坂 光	
		主事	高 橋 麻 衣 子	

6 傍聴者

0名

7 議事（令和7年度指定管理業務の評価について）の概要

(1) 評価等の進め方について【資料1】、(2) 事前評価結果について【参考資料1】

事務局から資料1及び参考資料1に基づき説明を行った。質疑等特になし。

(3) ヒアリング【参考資料2、参考資料3】

指定管理者において令和7年度の取組について説明を行い、委員がその内容についてヒアリングを実施した。

評価項目① 快適な利用環境の創出

【勝部委員】

資料に記載されている内容のほかに、指定管理者として特にPRしたい取組があれば、各委員からの事前コメントも踏まえて説明してほしい。

【指定管理者】

受付業務では、タブレット端末の筆談アプリや地図アプリを活用して来館者を案内している。

また、生け花教室と連携した館内展示を行い、施設の新たな魅力につながっている。

コメントいただいているフリーWi-Fiについては、会議室利用者向けと一般来館者向けで帯域を分け、セキュリティを確保しながら運用している。

また、デジタルサイネージについては、県と協議の上、移動可能なものを館内4か所に追加する予定であり、より効率的な誘導や案内につながるよう運用を検討している。

評価項目② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営

【指定管理者】

アイーナホールの「開放DAY」では、会場入口のモニターで開催中である旨を表示し、通りかかった一般利用者の見学にもつながった。

また、入居施設等との共同催事や日常的な打合せ等を通じ、館内連携を図っている。

テナント情報交換会では、喫煙マナー、屋外広告物、災害対策訓練等について意見や要望を共有している。寄せられた意見は、水害対策訓練の実施やのぼり等の取扱基準の整理など、施設運営の改善に反映している。

また、県も出席し、意見や対応状況を県、指定管理者及びテナントで共有している。

【事務局】

テナントから施設運営に関する相談を受けた際、情報交換会を通じて県の担当者とテナントの担当者が顔見知りとなっていたことから、調整を円滑に行うことができた事例があった。

【勝部委員】

テナント情報交換会は、一方的な情報伝達ではなく、県、指定管理者及びテナントが相互に意見交換を行う場であるのか。

【指定管理者】

そのとおりである。

【勝部委員】

非常に良い取組であると考えている。

評価項目③ 県民への情報提供（県内全域へのサービス提供）

【指定管理者】

ホームページのメタディスクリプションを見直した結果、検索順位が上がり、アクセス数の増加につながっている。

また、デザインツールや生成AIを活用して職員が広報物を作成し、制作コストの削減と情報発信の迅速化を図っている。

委員から助言のあった、実際の会場の利用風景をホームページに掲載することについては、今後検討していきたい。

【成田委員】

アウトリーチ活動について、オンラインを活用し、アイーナと遠隔地の複数会場を接続してイベントを同時開催することも一案と考えるが、見解を伺いたい。

【指定管理者】

先日、二戸市でイベントを実施した。盛岡市外での開催は一定の費用を要することに加え、移動距離や地域ごとの人口規模など、館内で開催する場合とは異なる条件がある。

一方、アイーナならではの催事を他の地域にも知っていただく機会として、未就学児向けイベントに限らず、セミナー等の開催も今後検討していきたい。

また、各自治体の施設等との連携を図るという観点からも、アウトリーチ活動は効果的であると認識している。オンラインの活用を含め、実施可能な連携方法を検討していきたい。

【勝部委員】

西村副委員長の事前コメントでは、管理者側が何を発信したかという観点だけでなく、県民が何を受信し、それによって施設に対する認識や利用行動がどのように変化したのかを把握することが重要であるとの助言があった。発信した情報が県民にどのように届いているかを把握することについても、今後の課題として取り組んでほしい。

【指定管理者】

イベント開催時には、参加者がイベントを知った媒体についてアンケートを実施しているが、現時点では、その結果を継続的に蓄積しデータベース化するまでには至っていない。助言を踏まえ、各媒体の効果を把握しながら、より効果的に情報発信を行うことができる体制を整えていきたい。

評価項目④ 適切な施設運営

【指定管理者】

空調管理やセキュリティについては、利用状況に応じ、各部署が連携して空調の停止や消灯、清掃、警戒管理等を行い、エネルギー効率の向上及びコスト削減を図っている。

また、安全管理マニュアルにクマ出没時の対応を追加し、盛岡市主催のクマ対策研修にも参加している。

【千葉委員】

開館後初めて長ベンチを修繕したとのことであるが、具体的な修繕内容を説明してほしい。

【指定管理者】

長ベンチについては、館内で作業を行うことができないため、トラックで木工所に運搬して修繕した。

5階及び8階のオブジェベンチについては移動できないことから、設置場所で約5日間をかけて作業を実施した。臭いの少ない塗料を使用するなど、利用環境への影響を最小限に抑えた結果、修繕作業に関する苦情等はなかった。

【千葉委員】

今回、施設に合わせて特別に設計された備品を修繕したものと理解しているが、今後も同様の修繕が生じる見込みか。

【指定管理者】

今回修繕したベンチはデザイナーの設計によるものであり、修繕に当たって関係者からきめ細かな助言をいただいた。維持管理には一定の費用を要するが、館内には同様の備品がほかにもあることから、今後も施設の状況を確認しながら適切に対応していきたい。

【勝部委員】

細かな修繕に着実に対応している点を評価したい。

施設及び設備について、中長期的な修繕計画はあるのか。

【事務局】

中長期的な修繕及び設備更新については、施設の状況、点検結果並びに不具合の発生状況等を踏まえながら、県と指定管理者で情報を共有し対応の優先順位を検討している。

直近では館内照明のLED化を進めているが、そのほかの修繕や設備更新についても引き続き指定管理者と相談しながら、中長期的な観点から必要な対応を検討していく。

【勝部委員】

数十年先を見据えた計画についても、県と指定管理者が引き続き相談しながら検討していただきたい。

(4) 委員による評価、(5) 委員会による評価、意見交換

ア 令和7年度指定管理業務の評価について

ヒアリングの結果に基づき、各委員が評価内容を確認した後、委員会としての最終評価は、評価項目①及び②を「5」、評価項目③及び④を「4」とすることで委員一同が同意した。

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ・評価項目① 快適な利用環境の創出 | 評価「5」 |
| ・評価項目② 利用者の声の反映／県民参加型の施設運営 | 評価「5」 |
| ・評価項目③ 県民への情報提供（県内全域へのサービス提供） | 評価「4」 |
| ・評価項目④ 適切な施設運営 | 評価「4」 |

イ 主な意見について

委員から、利用者ニーズや社会環境の変化に柔軟に対応し、限られた予算の中で創意工夫を凝らしながら案内表示の改善、施設及び備品の修繕、情報発信の充実、新たな利用者層の開拓等に取り組んでいる点を評価する意見があった。

また、利用者の声にきめ細かに対応するとともに、入居施設及びテナントとの継続的な意見交換を施設運営の改善につなげている点や、開放 DAY、スマートフォン教室等を通じて積極的に施設利用を促している点を評価する意見があった。

県民への情報提供については、ホームページの改善や生成 AI 等の活用を評価する一方、各種広報データを分析し、情報の到達層や実際の利用への効果を把握した上で、広報手段及び内容の継続的な改善につなげる必要があるとの意見があった。

施設及び設備の老朽化については、指定管理者の取組だけで対応することには限界があることから、県と指定管理者が連携し、中規模及び大規模な改修も視野に入れながら、計画的な修繕及び設備更新に取り組む必要があるとの意見があった。

また、安全性の確保と費用低減のバランスに留意すること、内部監査、コンプライアンス研修及び各種訓練の実効性を検証し、継続的な改善につなげることを期待する意見があった。

(6) 令和 7 年度指定管理業務の評価結果報告書（案）について

事務局から資料 2 に基づき説明し、ヒアリング及び意見交換の結果を踏まえて評価結果報告書案を修正した上で、全委員による書面確認を経て、10 月の公表に向けて作業を進めることとした。

8 閉 会

以上をもって、委員会を閉会した。